

北陸地方建設事業推進協議会

平成29年度

「建設技術報告会」

実 施 報 告 書

平成30年2月

北陸地方建設事業推進協議会
「建設技術報告会」実行委員会

目 次

1. 開催概要	
1) 目的	1
2) 開催日時	1
3) 開催場所	1
4) 構成と報告時間	2
5) 報告技術のテーマ	3
6) 主催構成機関及び実行委員会構成員	3
7) 聴講者数及び聴講者数の推移	4
2. 実施内容	
1) 開会式	6
2) 技術報告	6
3) 基調講演	8
4) 技術パネル等展示コーナー	8
5) NETIS 等パンフレット紹介コーナー	9
6) CPD／CPDS 認証プログラム	10
7) 閉会式	11
3. 準備及び運営・設営	
1) スケジュール	12
2) 主な経緯	12
3) 運営体制	13
4) 会場設営	14
4. 広報	
1) 広報活動	17
2) 広報等掲載一覧	17
5. アンケート	
1) 設問内容	21
2) 配布・回収	21
3) アンケート結果概要	22
4) 設問別集計結果	24

1. 開催概要

1) 目的

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催されました。

本報告会は、平成7年度から開催され、今回で22回目の開催となりました。

2) 開催日時

■平成29年11月28日(水) 9時30分～16時40分

●会場 朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)

●受付 9時00分～ 第1会場(2階スノーホールB)前 ホワイエ

●開会式 9時30分～9時40分 第1会場(2階スノーホールB)

開会挨拶：北陸地方整備局企画部 部長 渡辺 学

●基調講演 9時40分～10時40分 第1会場(2階 スノーホールB)

演題：「生産性向上のカギはこれだ！」

講師：株式会社大林組 土木本部本部長室 情報技術推進課
課長 杉浦 伸哉 氏

●技術報告 10時50分～16時10分 第1会場(2階 スノーホールB)

10時50分～16時10分 第2会場(2階 中会議室201)

●閉会式 16時20分～16時30分 第1会場(2階 スノーホールB)

総評・閉会挨拶：平成29年度「建設技術報告会」実行委員長 山下 尚
(北陸地方整備局 北陸技術事務所 所長)

閉会式終了後の16時40分から第1会場(2階 スノーホールB)前 ホワイエ で
「CPD/CPDS」の受講証明書の発行を行いました。

3) 開催場所

■会場施設

朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)

住所：〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号

TEL：Tel(代) 025-246-8400

URL：<http://www.tokimesse.com/>

■交通アクセス

◆新潟駅から

・万代口から路線バスで約15分

新潟駅万代口バスターミナル3番線乗り場より「佐渡汽船行き」に乗車、「朱鷺メッセ」バス停下車

・タクシー約5分

・徒歩約20分

◆自動車利用：

日本海東北自動車道：新潟亀田IC より
約20分
北陸自動車道：新潟西IC より約30分
磐越自動車道：新潟中央IC より約30分

◆新潟空港利用：

新潟空港よりタクシーで約20分
リムジンバスで新潟駅まで約25分

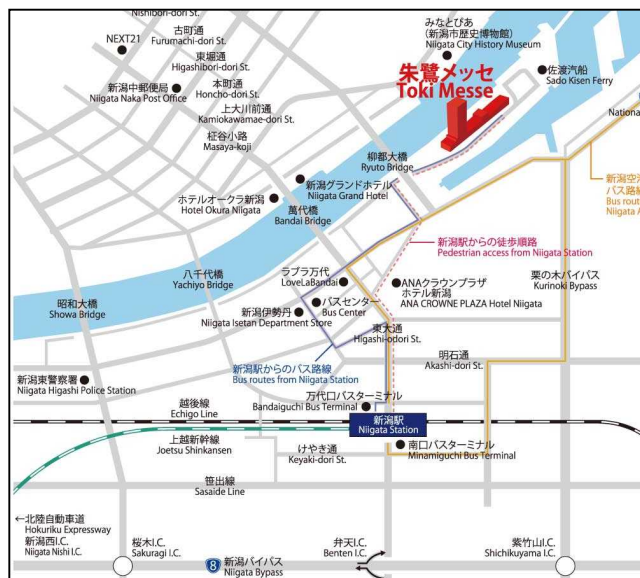
《駐車場》

万代島駐車場（A～E）：

普通車 約1,850台

駐車料金 最初の1時間無料、以後
30分ごとに100円。

1日（入場から24時間）当たり最大
1,500円



■使用会場

●スノーホールB	施設 2階	第1会場：開会式・基調講演・技術報告・閉会式 聴講席：405席
●中会議室201	施設 2階	第2会場：基調講演放映・技術報告 聴講席：216席
●中会議室201前 ホワイエ	施設 2階	技術パネル等展示コーナー パンフレット紹介コーナー
●小会議室 202・203・204	施設 2階	講師・来賓・事務局・運営スタッフ控室

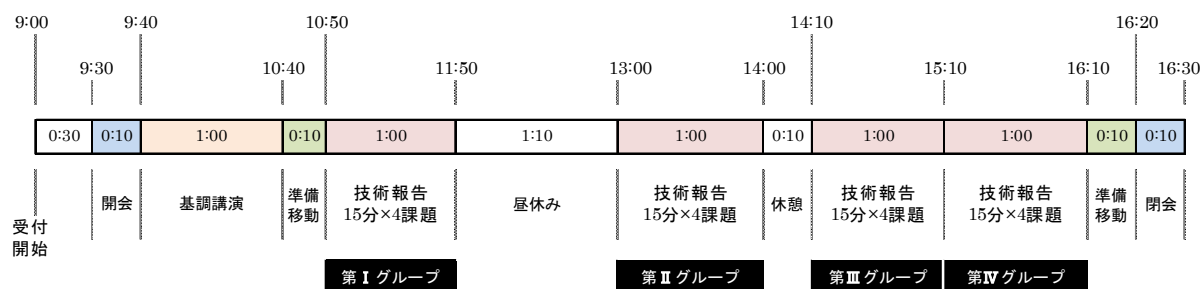
4) 構成と報告時間

基調講演と技術報告の2部構成とし、技術報告は2会場の分科会方式とした。

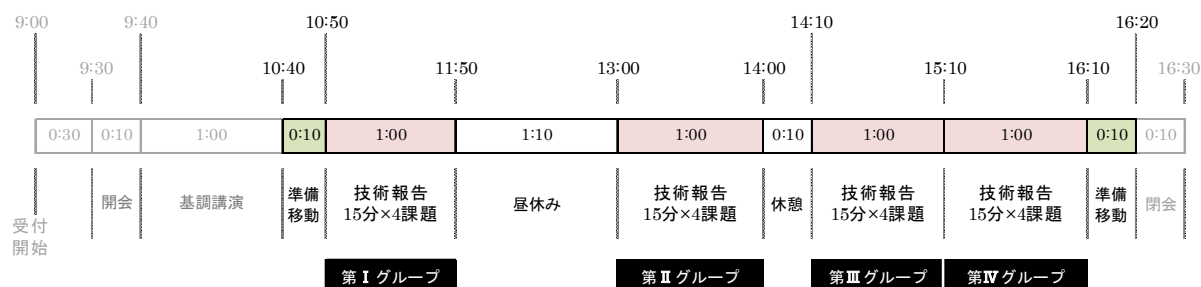
報告時間は「発表者入替」「プレゼンター立ち上げ」「質疑応答」を含めて1技術15分とし、1技術の報告終了毎に概ね3分間の質疑・応答時間を設けた。

技術報告：32技術（1技術×15分 質疑・応答含む）、基調講演：60分、昼休み：70分、休憩：10分

■第1会場：スノーホールB（2F）



■第2会場：中会議室 201（2F）



5) 報告技術のテーマ

下記6テーマの分類により、合計32技術の技術報告を行った。

テーマ別報告技術数は以下のとおりである。

- ① 良いものを安く(i-Construction) 5題
(生産性向上、コスト縮減、省力化、情報化に関する新技術 等)
- ② 社会資本の的確な維持管理・更新 9題
(維持管理、長寿命化、更新に関する新技術 等)
- ③ 雪に強い地域づくり 2題
(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術 等)
- ④ 自然災害からの安全確保 4題
(危機管理、土石流などの防災に関する新技術 等)
- ⑤ 環境の保全と創造 3題
(建設副産物、リサイクル、省エネルギー、再生可能エネルギーに関する新技術 等)
- ⑥ その他 9題
(その他①～⑤に属さない新技術 等)

6) 主催構成機関及び実行委員会構成員

■主催構成機関

主催は、『北陸地方建設事業推進協議会 平成29年度「建設技術報告会」実行委員会』である。
以下に実行委員会の構成機関（23機関）を示す。

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市／東日本高速道路(株)新潟支社／
中日本高速道路(株)金沢支社／(一社)日本建設業連合会北陸支部／
(一社)日本道路建設業協会北陸支部／(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／
(一社)石川県建設業協会／(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部／北陸土木コンクリート製品技術協会／
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／北陸PC防雪技術協会／
(一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター／北陸地質調査業協会／
(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会／(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

■実行委員会構成員

役 員	所 属	役 職	備 考
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	
委員長	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所	事務所長	
委 員	北陸地方整備局 企画部 施工企画課	課 長	
委 員	北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課	課 長	
委 員	新潟県 土木部 技術管理課	土木工事検査監	会計監査
委 員	富山県 土木部 建設技術企画課	副主任 技術指導係長	
委 員	石川県 土木部 監理課 技術管理室	課参事	
委 員	新潟市 都市政策部技術管理センター 技術管理課	課長	
委 員	東日本高速道路(株)新潟支社 技術部 技術企画課	課長代理	
委 員	中日本高速道路(株)金沢支社 総務企画部 企画調整チーム	サブリーダー	
委 員	(一社)日本建設業連合会 北陸支部	契約積算・技術副委員長	
委 員	(一社)日本道路建設業協会 北陸支部	幹事長	
委 員	(一社)新潟県建設業協会	常務理事	
委 員	(一社)富山県建設業協会	常務	
委 員	(一社)石川県建設業協会	常務理事	
委 員	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	広報委員長	
委 員	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部	普及部会担当委員	
委 員	北陸土木コンクリート製品技術協会	運営委員長	
委 員	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部	広報部会長	
委 員	北陸PC防雪技術協会	事務局長	
委 員	(一社)新潟県融雪技術協会	技術委員長	
委 員	(一財)新潟県建設技術センター	情報管理部長	
委 員	北陸地質調査業協会	事務局長	
委 員	(一社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	技術委員長	
委 員	(一社)北陸地域づくり協会 技術部	技術部長	
委 員	(一社)日本橋梁建設協会 北陸事務所	所長	

7) 聴講者数及び聴講者数の推移

■聴講者数

聴講募集を8月21日から9月22日まで行ったが、目標に達しなかったため10月20日まで延長し追加募集を実施した結果、456名の聴講者が参加した。本年度の聴講申込人数及び聴講実績人数は下表のとおりである。

【平成29年度「建設技術報告会」 聴講者集計表】

機関・団体名		申込	実績
官公庁	国交省、各県、新潟市、各市町村他	91	76
民間		486	338
発表者(官公庁)		7	7
発表者(民間)		25	25
報道		0	10
合計		609	456

■聴講者数の推移

【過去5年の聴講者数内訳】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開催地	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市
国交省	60	70	50	35	43
自治体	93	77	33	81	40
民間(協会等)	418	293	441	341	373
計	571	440	524	457	456

【「建設技術報告会」聴講者数(第1回～第22回)】

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
年度	1995年	1996年	1997年	1998年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
開催地	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	新潟市	金沢市
国土交通省等	39	68	112	94	100	89	72	72	80	105
自治体	39	202	116	129	69	86	87	50	31	34
民間(協会等)	189	373	430	209	364	401	471	354	360	319
学校						3		35	7	
合計	267	643	658	432	533	579	630	511	478	458
回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
年度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
開催地	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	富山市	新潟市
国土交通省等	45	47	33	47	43	67	65	60	70	50
自治体	18	29	24	23	49	24	100	93	77	33
民間(協会等)	278	302	404	343	459	411	336	418	293	441
学校										
合計	341	378	461	413	551	502	501	571	440	524
回	第21回	第22回								
年度	2016年	2017年								
開催地	金沢市	新潟市								
国土交通省等	35	43								
自治体	81	40								
民間(協会等)	341	373								
学校										
合計	457	456								

2. 実施内容

1) 開会式

時 間：9時30分～9時40分
会 場：第1会場（2階スノーホールB）
開会挨拶：北陸地方整備局 企画部長 渡辺 学
司 会：北陸技術事務所 副所長 本間 政幸



2) 技術報告

時 間：10時50分～16時10分	
会 場：第1会場（2階 スノーホールB）	16技術
第2会場（2階 中会議室201）	16技術
司 会：第1会場 （一社）日本建設業連合会 北陸支部（鹿島建設株）	青柳 孝義
北陸地方整備局 企画部 施工企画課 課長補佐	浦澤 克己
第2会場 （一社）日本道路建設業協会 北陸支部（株）NIPPON	八橋 義昭
北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐	今井 茂



第1会場 技術報告の状況



第2会場 技術報告の状況



第1会場 司会進行状況



第2会場 司会進行状況

・報告技術の募集は6月2日から7月7日まで行い、応募のあった32課題の技術報告を実施した。

【報告技術一覧表】

(第1会場)

テーマ 番号	技術名	会社(機関)名
⑥	橋梁下部工事の狭所施工における新技術の活用	国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所
⑥	長大トンネルにおける急速施工の取り組み	鹿島建設株式会社 北陸支店 新北陸トンネル(葉原)JV
⑥	バリアレス縁石	株式会社アドヴァンス 事業本部
①	トンネル切羽前方クロスホール弾性波トモグラフィの開発	前田建設工業株式会社
②	—FRP 材を用いた検査路の既設橋梁へ後から設置した事例の報告—	宮地エンジニアリング株式会社 橋梁営業部
②	積雪寒冷地域における簡易式路上表層再生工法「ヒートスティック」	鹿島道路株式会社 技術研究所
②	橋梁の部分撤去で導入された中間定着工法について	国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所
⑤	アスファルトフィニッシュ用の特殊保温プレートの開発	大林道路株式会社 機械部
③	歩道除雪車の作業ガイダンス装置の開発	国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所
③	FFP(フルファンクションペーパー)が持つ「多機能効果の検証」について	株式会社ガイアート 北陸支店
④	性能実証型落石防護棚メガロックキーパーの実物実験	日本サミコン株式会社 技術開発部
④	地すべり地に活用できる融雪量計の開発	株式会社興和 技術開発室
⑥	ドラグサクシオン浚渫兼油回収船「白山」の投げ込み式油回収機更新	国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査
⑥	港内反射波を効率的に消波するコンパクトな没水型対策工	株式会社不動テトラ プロック環境事業本部
①	拡張現実を用いた水中可視化技術「Beluga-AR」	東亜建設工業株式会社 土木事業本部
①	港湾工事における情報化施工技術	株式会社本間組 土木事業本部

(第2会場)

テーマ 番号	技術名	会社(機関)名
②	水中点検ロボット(アクアジャスター搭載型ROV)の開発	株式会社大林組
②	老朽化した鋼矢板護岸・水路の迅速再生技術～ストパネ工法～の開	株式会社水倉組 営業本部
⑤	信濃川下流における環境に配慮した河道掘削の取組	国土交通省 北陸地方整備局
⑤	吸水性泥土改質材「フトル」	五洋建設株式会社
⑥	「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」の概要	新潟県 土木部
⑥	高い浸透性能を発揮する「極超微粒子セメント注入材料」	日特建設株式会社 技術本部
⑥	自律制御型振動ローラー「T-iROBO®Roller」の一般工事適用につい	大成建設株式会社 技術センター
⑥	Holostruction(ホロストラクション)～三次元データの活用による生産	小柳建設株式会社 ITシステム課
④	管路内水位監視サポートシステム(携行型)の紹介	株式会社興和 水工部
②	韌性モルタル NA の開発	株式会社レックス 技術部
②	軟弱地盤におけるベル工法(塩化ビニル推進管による長距離・曲線	真柄建設株式会社 土木事業本部
②	打音診断への AI 技術の適用	佐藤工業株式会社 土木事業本部
①	重量鉄筋配筋作業支援ロボット(配筋アシストロボ)の開発	清水建設株式会社 土木技術本部
①	砂防現場における ICT 活用工事の課題について	国土交通省 北陸地方整備局
④	GIB工法(落石衝撃緩衝工法)	日本サミコン株式会社 技術本部
②	安全性と効率性を考慮した集水井内部の点検手法	国立研究開発法人土木研究所

① 良いものを安く (i-Construction) (5題)	② 社会資本の的確な維持管理・更新 (9題)
③ 雪に強い地域づくり (2題)	④ 自然災害からの安全確保 (4題)
⑤ 環境の保全と創造 (3題)	⑥ その他 (9題)

3) 基調講演

時 間：9時30分～10時40分

会 場：第1会場（2階 スノーホールB）

演 題：「生産性向上のカギはこれだ！」

講演者：株式会社大林組 土木本部本部長室 情報技術推進課 課長 杉浦 伸哉 氏

司 会：北陸技術事務所 副所長 本間 政幸



杉浦 伸哉 氏



基調講演聴講状況

4) 技術パネル等展示コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、展示希望を募り33社の新技術パネル展示を実施した。パネルの前面には当該技術のパンフレットや模型等を配置した。

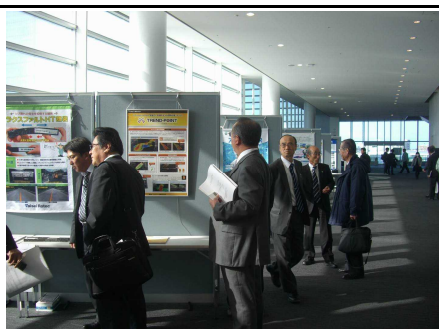
時 間：9時00分～16時30分

会 場：2階ホワイエ（第2会場前）

【技術パネル等展示一覧表】

番号	出展技術	出展者
①	Made in 新潟 新技術普及・活用制度の概要	新潟県
②	重量鉄筋配筋作業支援ロボット(配筋アシストロボ)の開発	清水建設株式会社
③	大成建設の T-iROBO シリーズ	大成建設株式会社
④	ベル工法(塩化ビニル推進管による長距離・曲線推進)の施工技術	真柄建設株式会社
⑤	吸水性泥土改質材「ワトル」	五洋建設株式会社
⑥	ウォータージェット削孔による長尺補強鉄筋の挿入工法	佐藤工業株式会社
⑦	振動式側溝撤去工法	株式会社植木組
⑧	New スリーブ注入工法	日特建設株式会社
⑨	KS-S・MIX(大口径相対攪拌深層混合処理)工法	あおみ建設株式会社
⑩	W/C ミータ MT-400	一般社団法人北陸地域づくり協会
⑪	水中点検ロボット(アクアジャスター搭載型 ROV)	株式会社大林組
⑫	ストパネ工法	株式会社水倉組
⑬	拡張現実を用いた水中可視化技術「Beluga-AR」	東亜建設工業株式会社
⑭	没水型長周期波対策工	株式会社不動テトラ
⑮	ケーソン中詰材撤去システム	株式会社本間組

⑯	東洋津波リスクマネージメントシステム TECS-TRM	東洋建設株式会社
⑰	歩道除雪車の作業ガイダンス装置の開発	北陸地方整備局 北陸技術事務所
⑱	ヒートスティック工法	鹿島道路株式会社
⑲	フル・ファンクション・ペーパー(FFP)	株式会社ガイアート
⑳	バリアレス縁石	株式会社アドヴァンス
㉑	3D マッチ	鹿島建設株式会社
㉒	アイストッパー	大林道路株式会社
㉓	EG カラー	東亜道路工業株式会社
㉔	画像損傷診断システム	福田道路株式会社
㉕	凍結抑制舗装・ザベック工法タイプG	世紀東急工業株式会社
㉖	ハードフレッシュ工法	株式会社 NIPPO
㉗	フレークウッド(樹脂系木質舗装)	株式会社佐藤渡辺
㉘	TREND-POINT	福井コンピュータ株式会社
㉙	リラクスファルトHT舗装	大成ロテック株式会社
㉚	PCL 工法(トンネルプレキャストライニング)	日本サミコン株式会社
㉛	管底設置型 下水熱交換方式融雪システム	株式会社興和
㉜	F-Deck	宮地エンジニアリング株式会社
㉝	パイプ型落橋防止システム	東綱橋梁株式会社



技術パネル等展示コーナーの状況

5) NETIS 等パンフレット配布コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、下記の国、自治体による新技術登録制度に登録された技術を対象として、配布希望を募り6技術のパンフレット配布を行った。

時 間：9時00分～16時30分

会 場：2階ホワイエ（第2会場前）

【NETIS 等パンフレット一覧表】

番号	出展技術	出展者	区分
①	水中三次元座標測量システム	株式会社本間組	道路
②	パフェグラウト工法	日特建設株式会社	道路
③	テトラネオ	株式会社不動テトラ	共通
④	コールドパーミックス	東亜道路工業株式会社	共通
⑤	KVS ストレーナ	株式会社興和	共通
⑥	斜面崩壊検知センサー「感太郎」	中央開発株式会社	共通

6) CPD/CPDS認証プログラム

社会資本整備に携わる建設技術者の技術力向上の場として、本報告会を積極的に活用していただくことを目的に、平成20年度より一般社団法人建設コンサルタンツ協会による「CPD（継続教育）5単位」プログラム及び一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会による「CPDS（継続学習制度）3ユニット」の認定講習の登録を行い、215名に受講証明の交付を行った。交付数は聴講者全体の47%(215/456)、民間聴講者の60%(213/351)であった。

■受講受付

時 間：9時00分～9時50分

場 所：第1会場（2階スノーホールB）前
ホワイエ

聴講受付－受講証明書引換券配付

■受講証明発行

時 間：16時40分～17時00分

場 所：第1会場（2階スノーホールB）前
ホワイエ

CPD/CPDS 受付－引換券により受講証明書発行

平成29年度 受講証明書交付数：215人（CPD－116人 CPDS－99人）

CPD 受講証明書

CPD 受講証明書

CPDS 受講証明書

CPDS 受講証明書



受講証明書引換券配布状況



受講証明書発行状況

7) 閉会式

時 間：16時30分～16時40分

会 場：第1会場（2階 スノーホールB）

総評・閉会挨拶：

「建設技術報告会」実行委員長 山下 尚

（北陸地方整備局 北陸技術事務所長）

司 会：北陸技術事務所 副所長 本間 政幸



3. 準備及び運営・設営

1) スケジュール

平成29年度「建設技術報告会」の運営は、下記のとおり実施した。

北陸地方建設事業推進協議会 「平成29年度 建設技術報告会」運営スケジュール（案）

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年1月	備考
実行委員会等													
北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	●	2/16(月)											
実行委員会開催（会議資料作成等）						●						●	
					6月1日(木)							1月下旬	
報告技術募集及び原稿作成等													
各案内用チラシ原稿作成													
ホームページ開設・運営													
報告技術募集・取りまとめ（主催機関）													
技術パネル展示募集・取りまとめ（主催機関）													
NETIS等ウェブサイト紹介募集・取りまとめ（主催機関）													
報告技術検討・選定													
採否通知送付（事務局）													
報告論文原稿、概要版作成・提出（報告技術発表者）													
プレゼンデータ作成・提出（報告技術発表者）													
聴講募集（主催機関等）													
報告論文集（PDF）作成（HP掲載）													
その他													
基調講演者依頼・報道投込み													
CPD/CPDSプログラム登録申請													
会場設営・準備													
報告会開催													

2) 主な経緯

会 議 名 等	実施日時	会 場	内 容
平成 29 年度 北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	平成 29 年 2 月 16 日（月）	北陸地方整備局 会議室	「建設技術報告会」の開催承認
平成 29 年度「建設技術報告会」 第 1 回実行委員会	平成 29 年 6 月 1 日（木） 13 時 30 分～15 時 00 分	新潟国道事務所 B 棟会議室	規約（案）の協議・承認 実施計画（案）の協議・承認 予算（案）の協議・承認
平成 29 年度「建設技術報告会」開催	平成 29 年 11 月 28 日（火） 9 時 00 分～16 時 30 分	朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）2 階 スノーホール B および中会議室 201	報告会開催
平成 29 年度「建設技術報告会」 第 2 回実行委員会	平成 30 年 1 月 24 日（水） 13 時 30 分～15 時 00 分	北陸地方整備局 4 階 合同会議室（1・2）	実施結果報告 収支報告 次回開催について

3) 運営体制

報告会当日は、別途契約の設営会社及び主催構成機関・団体からの運営スタッフ 28 名の協力により実施した。

【機関・団体別 スタッフ人数】

国土交通省 北陸地方整備局					主催 協力機関・団体									合計
企画部 施工 企画課	港湾空港部 海洋環境 ・技術課	新潟港湾空港 技術調査 事務所	北陸 技術 事務所	小計	新潟県	新潟市	新潟建協	日建連	道建協	建機協	建コン協	埋浚協	小計	
4	2	2	3	11	4	3	2	2	2	1	1	2	17	28

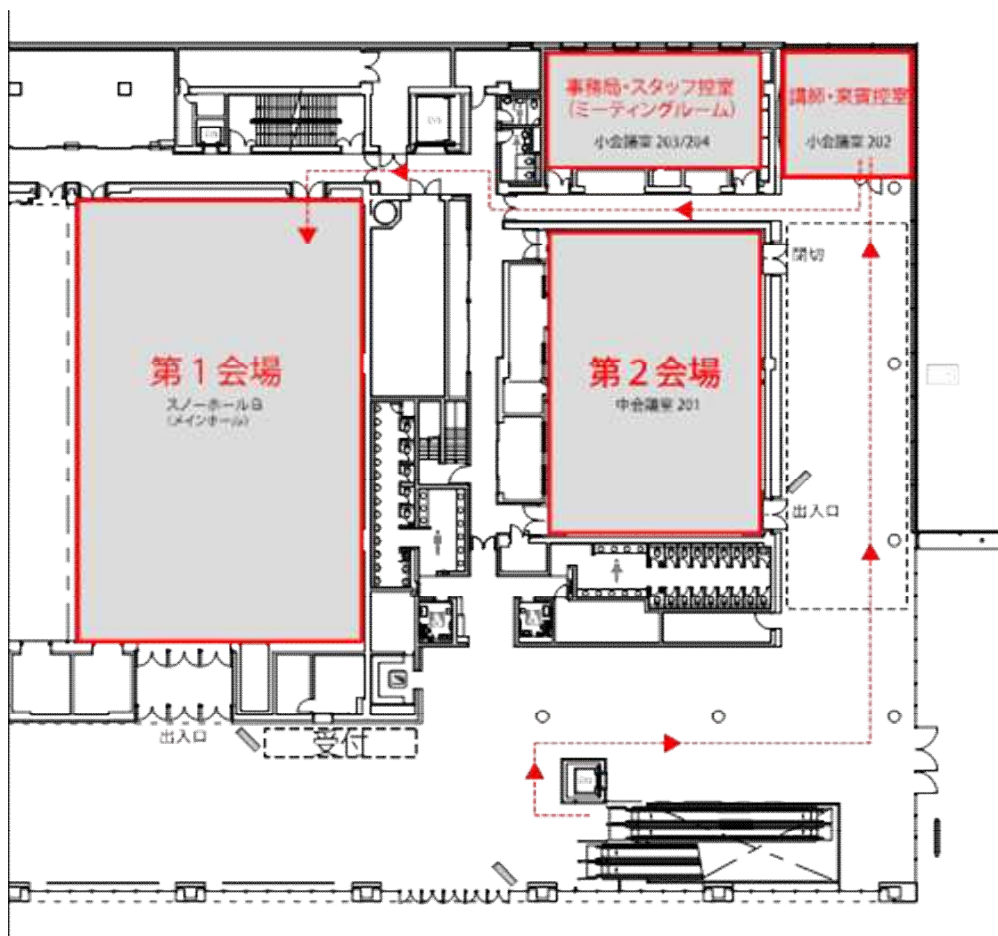
【運営体制表】

担当・時間・会場等				設営 人員	北陸地整 11人	新潟県 4人	新潟市 3人	新潟建協 2人	日建連 2人	道建協 2人	建設コン 1人	機械協 1人	埋浚協 2人	
受付係 (聴講)	受付開始～報告終了まで			12		1		1						
	受付開始～基調講演終了まで					2	2	1	1	1	1	1		
受付係 (CPD/CPDS)	閉会式終了～17:00まで			6	(6)									
技術報告	司会係	第一会場	I・IIグループ	2	1				1					
			Ⅲ・Ⅳグループ											
		第二会場	I・IIグループ	2					1					
			Ⅲ・Ⅳグループ		1									
	時間管理係	第一会場	I・IIグループ	2		(1)	(1)							
			Ⅲ・Ⅳグループ		(1)									
		第二会場	I・IIグループ	2		(1)								
			Ⅲ・Ⅳグループ			(1)								
会場照明／パソコン係		第一会場	1										1	
		第二会場	1										(1)	
マイク受渡し係		第一会場	3				(1)			(1)	(1)			
		第二会場	2					(1)	(1)					
写真係		全体 開閉会式・基調講演	2		1	1								
		第一会場	1		(1)									
		第二会場	1			(1)								
事務局	開閉会式・基調講演司会係			1	1									
	来賓案内			1	1									
	接遇(来賓)			1	1									
	マスコミ対応		適宜	4	(4)									
	連絡調整係			2	2									
	運営・設営係	第一会場 配置替え	開閉会式 基調講演	4	4									
		パネル撤収		2	(2)									

4) 会場設営

■フロアマップ

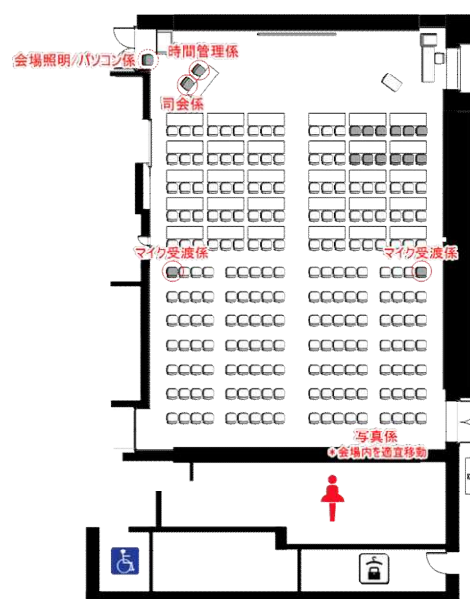
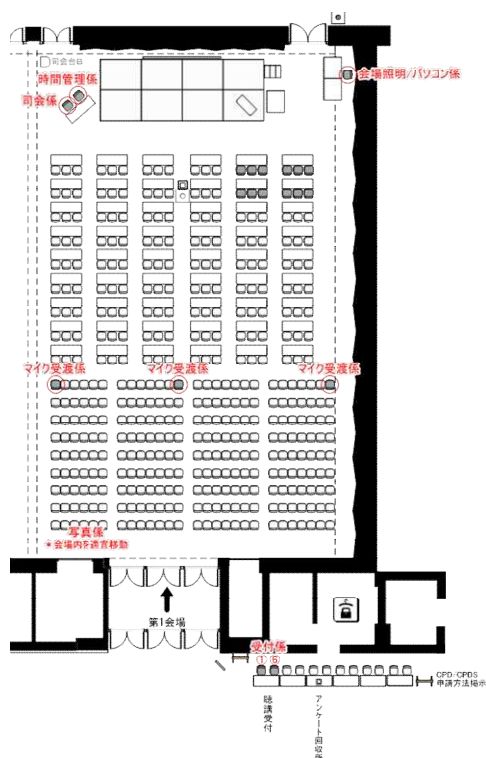
本報告会の使用会場は全て2階にあります。使用会場の位置を以下に示します。



■会場レイアウト図ー技術報告時ー

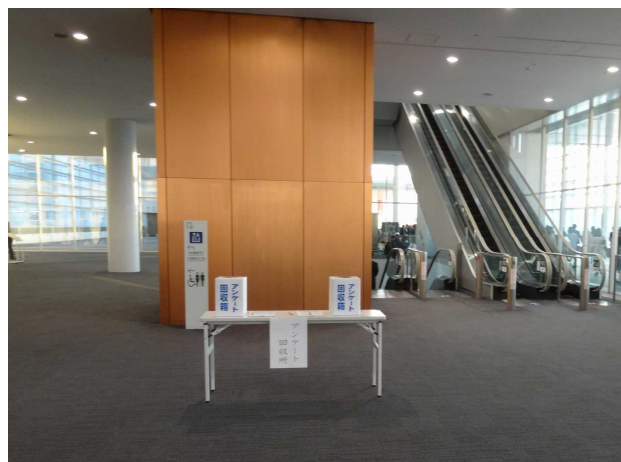
■第1会場

■第2会場





① 開催案内



② アンケート回収箱



③ スタッフミーティング



④ 聴講者受付状況



⑤ NETIS 等パンフレット紹介コーナー



⑥ 聴講者質問状況

4. 広報

1) 広報活動

種別・内容	方法	時期	摘要
チラシ配布	配布・募集	5月26日～	主催機関・団体
報告技術募集 (電子データ北技HP掲載) 聴講募集 (紙・電子データ)		8月18日～	主催機関・団体、近隣整備局、近県、石川県内市町、学校関係他
記者クラブ	資料配付	11月21日(火)	開催概要 プログラム
ホームページ	開設・運用	5月26日～(報告技術募集)	
北陸技術事務所 各主催機関・団体		8月18日～(聴講募集) 適宜	

2) 広報等掲載一覧

■新聞報道

掲載紙	発行機関	掲載月日
建設通信新聞	日刊建設通信新聞社	平成29年11月29日(水)
日刊建設工業新聞	日刊建設工業新聞社	平成29年11月29日(水)

■定期刊行誌

掲載紙	発行機関	掲載号
北陸の建設技術	北陸地方建設事業推進協議会	6月号(報告技術募集) 9月号(聴講募集) 1月号(開催結果)
建設マネジメント技術	(一財)経済調査会	4月号(開催結果)＜予定＞

※来年度、各団体が発行する定期刊行誌への掲載のご検討をお願いします。

■ホームページ

掲載機関	掲載コンテンツ
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部	「トップ(バナー掲載)」
(一社)石川県建設業協会	「トップ(バナー掲載)」
(一社)新潟県融雪技術協会	「トップ(バナー掲載)」
(一社)北陸地域づくり協会	「お知らせ」、「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸地方整備局	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省新潟港湾空港技術調査事務所	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸技術事務所	「トップ(バナー掲載)」
朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)	イベント情報

※引き続きHPでの広報にご協力をお願いします。また、今回、掲載のなかった団体等も来年度はご検討をお願いします。

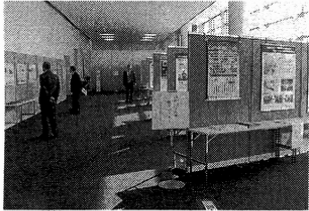
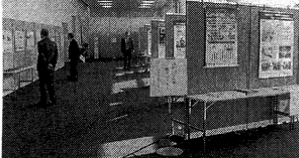
2017.11.29
建設技術報告
新技術・工法32件発表
北陸整備局ら建設技術報告会

北陸整備局ら 建設技術報告会

北陸地方整備局と北陸3県（新潟、富山、石川）など3で組織する北陸地方建設事業推進協議会（実行委員長・渡辺学北陸整備局企画部長）は28日、新潟県中央区の朱鷺メッセで17年度の建設技術報告会を開いた。

報告会は主に北陸管内の企業が開発した新技術や新工法の紹介と、普及を目的に、今年度から毎年開いており、95年度から毎年開いており、今年度で22回目。会場では、各社が自慢の新技術や新工法をパネル展示と写真

したほか、良いものを安く（i-Construction）、社会資本の的

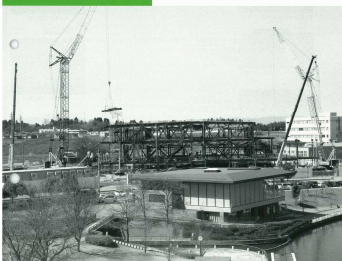


確な維持管理、更新、雪に強い地域づくり、自然災害からの安全確保、環境の保全と創造の5テーマと、その全と創造の5テーマと、その全の他に分類した合計32技術が発表された。

新工法や新技術の展示では、企業などが開発した33技術が紹介された。新技術情報提供システム（NETS）、メードイン新潟新技術普及・活用制度のいずれかに登録の6技術を紹介するパンフレットも配布した。

日本建設業連合会のインフラ再生委員会幹事を務める大林組の杉浦伸哉氏による講演「生産性向上の力」は「これだー」も行われた。

北陸の建設技術



北陸地方建設事業推進協議会

■定期刊行誌 掲載事例

◆北陸の建設技術（6月号）掲載事例（報告技術募集のお知らせ）

社会資本維持、品質向上を
整備局らが建設技術報告会

新 鴻

北陸地方整備局、新潟・富山・石川の3県、建設業関連団体などから構成される北陸地方建設事業推進協議会が28日、17年度「建設技術啓発会」を新潟市中央区の朱鷺マツで開催し、約600人が参加した。

95年度から開催され、今回は22回目。開会式に

当りあいさつに立った渡部孝北陸地方整備局企画部長は「社会資本の品質をトープとするという観点から、新技術、新法は重要なものだ」と考えて

進め、技術開発により推進し、効果的、効果的な社会資本整備につなげれば幸い」と述べた。続いて大林組の井浦伸哉土木本部長が長年情報技術

の推進に「生産性向上の力」がこれだ」と題して基調講演を行った。



6テーマ32題が発表された報告会

これだ」と題して基調講演を行った。この中で杉浦課長は、生産性向上を目指し実際に現場で導入されている各種のツール

なについて説明した。技術報告では、①良かれの安く、②雪災害社会資本の確かな維持と強更新③雪に強い地域④雪に自然災害からの安全確保⑤環境の保全⑥テーマの6テーマから、計32題が報告された。が、会場には、官公庁、民間企業を紹介開発した新技術を紹介する接点パネル等展示コーナーや、NETS等パネ

◆北陸の建設技術（9月号）掲載事例（聴講者募集のお知らせ）

北陸の建設技術



北陸地方建設事業推進協議会

平成29年度 建設分野の新技術・新工法の報告会
建設技術
報告会
平成29年
開催日 11/28(火)
会場 朱鷺メッセ
(新潟コンベンションセンター)
聴講者募集

～建設分野に関する新技術・新工法などを発表します～

スケジュール 入場・聴講

受付 9:00~
閉会式 9:30~ 第2会場（2階）にて実施

基調講演 9:40～ 第1会場（2階エノホールB）
「生産性向上のカタチはこれだ！」

技術報告 10:50～ 第1会場【2階エ／ホールB】

閉会式 16:20～ 第1会場〔2階スノーホールB〕

基礎講座 講座プロフィール

(公社)土木学会「土木情報学委員会、建設3次元情報利用研究会、小委員会」委員WGリーダー、<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugoki/mika/tecbo>

再生委員会幹事、土木工事技術委員会副委員長、電力工事委員会WGリーダー等担当。

お問い合わせ先 北陸地方建設事業推進協議会
TEL 076-233-1111 FAX 076-233-1112
E-MAIL info@hokuriku-kenkoku.jp info@hokuriku-kenkoku.jp

すげうら しんや
杉浦 伸哉 氏

(株)大林組 土木本部部長 横田雄雄 敬啓
大林組生産性向上一人参入部 横田23部 敬啓

主催：全陸地方建設事業推進協議会 平成28年度「建設技術報告会」実行委員会
全陸地方建設協議会/新潟県/富山県/石川県/福井県/東日本高速道路(株)/新潟大学/平井北高速道路(株)/金沢大学

(一)日本建設業協会建築支店／(二)日本造園協会の建築支店、(三)新設事業部建築科／(四)都市環境政策協会
 (五)緑の環境政策協会／(六)建設コンサルタント協会建築支部／(七)日本建築師会連合会建築支部
 建築土木エンジニアリング製品販売協会／(八)アパレル・スポーツ・コンクリート建設技術協会建築支部／建築ＡＣ技術情報協会
 (九)新築用設備技術協会／(十)調剤環境衛生センター／近畿地質調査業協会／(十一)土木環境資源協会建築支店

〔一四〕北緯地圖(『牛島』/一四)日本緯度地理部元陸軍省刊

◆北陸の建設技術（1月号）掲載事例（開催結果）



●掲載報告会は2か所に分かれ、以下の6テーマに関して3誌の掲載を行いました。

①選りすぐりの企業 (Construction) (5誌) ②社会貢献の取り組み (5誌) ③自然環境との共生 (4誌)

④選りすぐりの企業 (Construction) (5誌) ⑤社会貢献の取り組み (5誌) ⑥自然環境との共生 (4誌)

●掲載報告会一覧

テーマ	掲載企業	掲載誌	掲載企業
①選りすぐりの企業 (Construction)	1. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	2. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	3. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	4. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	5. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	6. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	7. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	8. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	9. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	10. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
②社会貢献の取り組み	1. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	2. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	3. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	4. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	5. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	6. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	7. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	8. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	9. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	10. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
③自然環境との共生	1. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	2. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	3. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	4. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	5. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	6. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	7. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	8. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	9. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設
	10. 株式会社 北陸建設	北陸建設	北陸建設

●パネリスト一覧

No.	氏 名	所属先/役職
1	伊藤 孝一	北陸建設 代表取締役
2	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
3	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
4	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
5	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
6	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
7	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
8	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
9	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
10	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
11	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
12	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
13	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
14	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
15	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
16	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
17	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
18	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
19	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
20	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
21	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
22	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
23	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
24	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
25	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
26	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
27	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
28	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
29	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
30	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
31	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
32	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
33	田中 孝一	北陸建設 代表取締役
34	田中 孝一	北陸建設 代表取締役



◆HP掲載事例（バナー掲載）



北陸技術事務所



石川県建設業協会



新潟港湾空港技術調査事務所



北陸地域づくり協会

(一社)新潟県融雪技術協会

ホーム	Home
ごあいさつ	Greeting
主な事業	Event
マニュアルのご案内	Manual request
融雪技術	Deckpment
組織・会員	Organization
技術講習会・研修会	Training
お問い合わせ	Contact



融雪技術で住みよい社会を。

ご案内 Information

- 2016.09.05
「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル」が平成26年8月に改訂されたのを受けて、「散水消雪施設の維持管理手冊資料」について多量りの実施調査を行い、改訂発行致しました。
- 2014.08.08
「散水消雪施設設計施工マニュアル」が平成26年3月に発行されたのを受けて、「散水消雪施設の維持管理手冊資料」が平成26年5月に改訂されたのを受けて、改訂にあたっては平成26年3月に発行された「散水消雪施設の維持管理マニュアル」から散水消雪施設に共通する部分に修正・加筆を加え新たに、「散水消雪施設設計施工維持管理マニュアル」として改訂発行致しました。

散水消雪施設の維持管理手冊資料改訂発行のご案内

「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル」が平成26年8月に改訂されたのを受けて、「散水消雪施設の維持管理手冊資料」について多量りの実施調査を行い、改訂発行致しました。

散水消雪施設設計施工マニュアル改訂発行のご案内

平成26年3月に発行した設計マニュアルについて、「散水消雪・散雪施設設計事項」が平成26年5月に改訂されたのを受けて、改訂にあたっては平成26年3月に発行された「散水消雪施設の維持管理マニュアル」から散水消雪施設に共通する部分に修正・加筆を加え新たに、「散水消雪施設設計施工維持管理マニュアル」として改訂発行致しました。

人に優しい道を演出



道路消融雪イメージ

マニュアル・資料のご案内

散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル及び維持管理手冊資料のご案内はこちら

建設技術報告会

Copyright©1999-2015, (一社)新潟県融雪技術協会 All Rights Reserved.



新潟県融雪技術協会

5. アンケート

次回以降の開催の参考とするため、聴講者を対象にアンケート調査を実施した。

1) 設問内容

「平成29年度建設技術報告会」アンケート
「平成29年度建設技術報告会」実行委員会事務局

問1. あなた自信についてお尋ねします。あてはまるもの一つだけ○を付けてください。

①職業 A 民間会社（建設関係） B 民間会社（コンサル関係） C 協会・団体（公益法人等）
D 自営業 E 地方公共団体（県） F 地方公共団体（市町村） G 国土交通省
H その他（ ）

②住所 A 新潟市内 B 新潟市を除く新潟県内（ ）
C 富山県 D 石川県 E その他（ ）

問2. 今回の建設技術報告会会場についてお尋ねします。あてはまるもの一つだけ○を付けてください。

①本報告会の開催を何で知りましたか？
A ホームページ B チラシ C うちこみ
D 協会・団体からの案内 E 国土交通省・地方自治体からの案内
F その他（ ）

問3. 今回の報告会の開催についてお尋ねします。あてはまるもの一つだけ○を付けてください。

①建設技術報告会は、次の5分野を核に報文を募集しています。最も関心のある分野はなんですか？
A 良いものを安く（i-Construction） 「生産性向上技術」、「コスト削減技術」、「省力化技術」等
B 社会資本の的確な維持管理・更新 「メンテナンス技術」、「維持管理費削減と耐久性のある材料」等
C 雪に強い地域づくり 「大雪対策技術」、「冬期道路交通安全確保」等
D 自然災害からの安全確保 「土石流などからの防災技術」、「災害対策技術」等
E 環境の保全と創造 「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等
F その他分野の希望があればご記入ください。
()

②報告技術の1題当たりの報告時間は？ A 長い B 適当 C 短い

③最も印象に残った技術のプログラム番号を3題までご記入ください。
1 (-) 2 (-) 3 (-)

問4. 今後の報告会の開催についてお尋ねします。あてはまるもの一つだけ○を付けてください。

①報告会を今後も開催した方がよいですか？
A 続けた方がよい B 特に思わない
C 他行事と合同開催がよい（行事名： ）
D その他（ ）

②開催年について？ A 毎年開催がよい（従前） B 2年に1回でよい
C その他（ ）

③これまで新潟→富山→新潟→石川の順で開催していますが、開催地についてご意見ありますか？
A これまでどおりでよい B 開催地を固定するのが良い（ 県）
C その他（ ）

④開催時期について？ A 4～6月 B 7～9月 C 10～12月 D その他（ ）

（裏面につづく）

（表面）

⑤基調講演について？
A 今後も続けてほしい B 特に必要ない C 改善してほしい
改善案

⑥基調講演で希望する内容はありますか？
講演内容

⑦技術パネル等展示コーナーについて？
A 今後も続けてほしい B 特に必要ない C 改善してほしい
改善案

⑧NETIS等パンフレット配布コーナーについて？
A 今後も続けてほしい B 特に必要ない C 改善してほしい
改善案

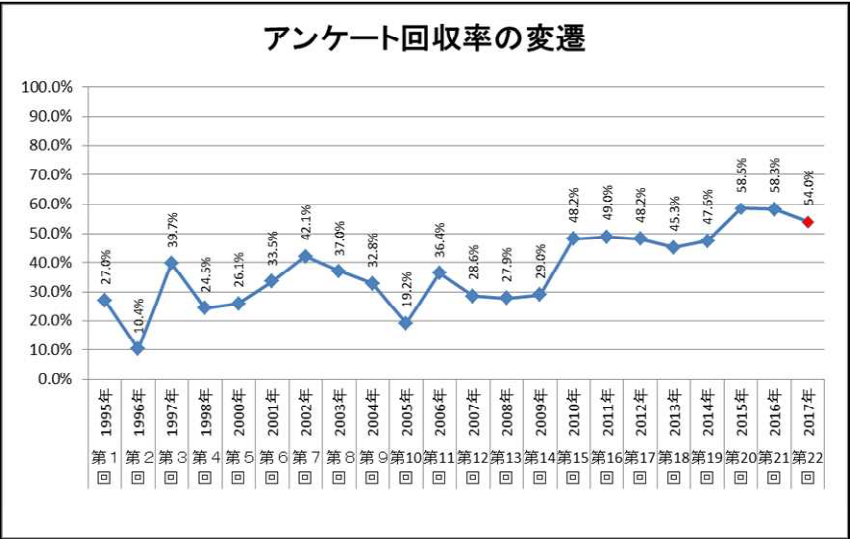
問5. その他ご意見・要望がありましたらご記入ください。

※ご協力ありがとうございました。この用紙は1階ホワイエ・第2会場前に設置していますアンケート回収箱に投函願います。なお、後日回答のご協力をいただける方は、次のFAX番号に送信して下さい。
（〒切12月8日（金）） FAX: 025-231-1283

（裏面）

2) 配布・回収

アンケートは受付時に聴講者に配布し、第1会場前及び第2会場前に設置した回収箱により回収を行った。なお、アンケート回収率は以下のとおりである。



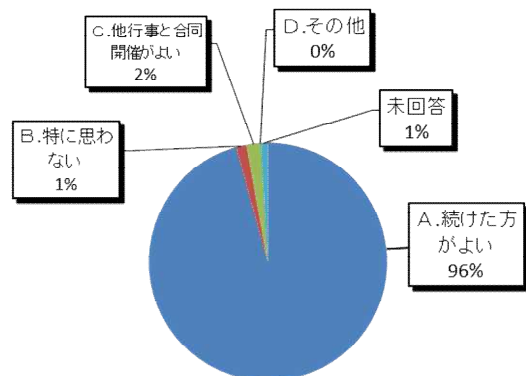
	官公庁	民間	計
配布数	57	328	385
回答数	13	195	208
回収率	23%	59%	54.0%
回答割合	6%	94%	100%

※発表者、報道、スタッフを除く

3) アンケート結果概要

○今後の報告会の開催について

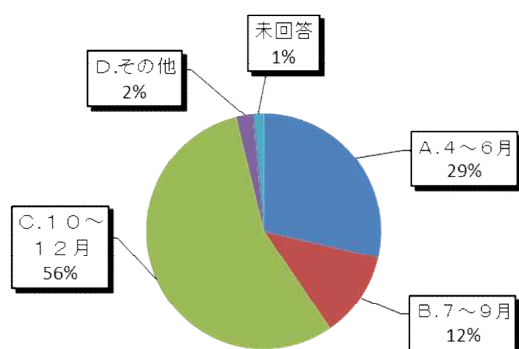
・ 9 割以上が、「今後も継続して欲しい」と回答



A. 続けた方がよい	200
B. 特に思わない	3
C. 他行事と合同開催がよい	4
D. その他	0
未回答	2
	209

○報告会の開催時期について

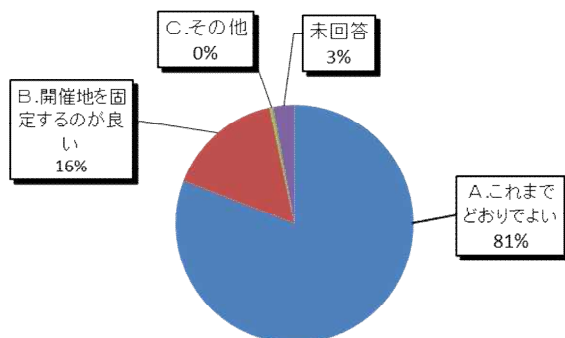
・ 半数以上が「10～12月」（今の時期）と回答



A. 4～6月	60
B. 7～9月	25
C. 10～12月	117
D. その他	5
未回答	3
	210

○開催地について

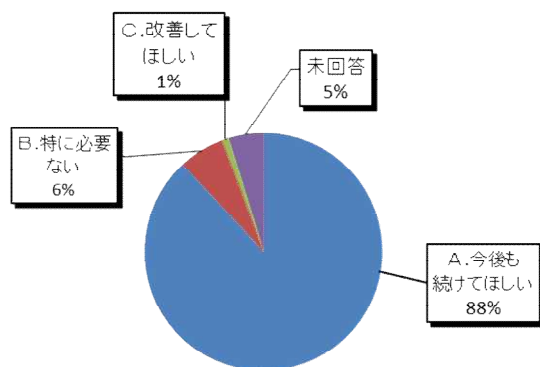
・ 8 割が「これまでどおりでよい」と回答



A. これまでどおりでよい	169
B. 開催地を固定するのが良い	33
C. その他	1
未回答	6
	209

○基調講演について

- ・約9割が「今後も続けて欲しい」と回答



A. 今後も続けてほしい	184
B. 特に必要ない	13
C. 改善してほしい	2
未回答	10
	209

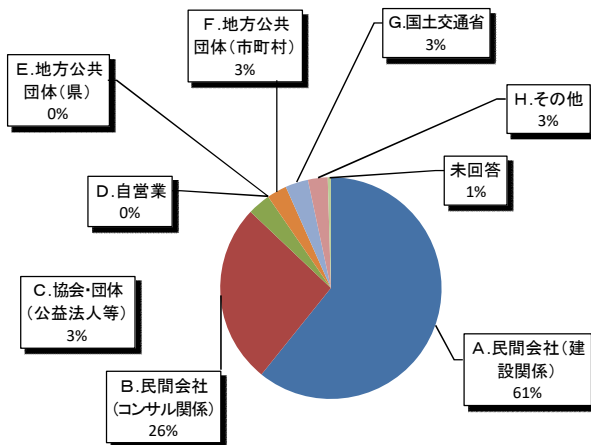
○この報告会全体で感じたことや意見等の自由意見（今後の課題等抜粋）

- ・ サイトで配布するPDFは、文ではなくパワポのスライドの方がわかりやすいと思う。
- ・ 説明資料が配付されたものは概要だけだが、詳しい資料があると後日復習ができる。
- ・ 各会場・グループの報告内容について、項目・分野ごとにグループ化してほしい。
例えば、道路・河川・港湾・製品・計装・トンネル・シールド系など。
- ・ 発表時間が短くて、理解しづらいことがあった。
- ・ CPD認定プログラムでもあり、建築系の内容も増やしてほしい。

4) 設問別集計結果

問1. あなた自身についてお尋ねします。

①職業

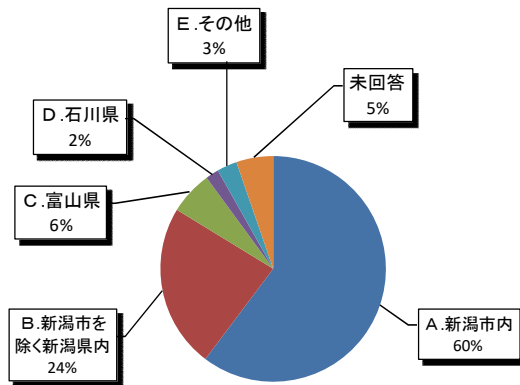


A. 民間会社(建設関係)	127
B. 民間会社(コンサル関係)	55
C. 協会・団体(公益法人等)	7
D. 自営業	0
E. 地方公共団体(県)	0
F. 地方公共団体(市町村)	6
G. 国土交通省	7
H. その他	6
未回答	1
	209

その他

- ・コンクリート製品メーカー(1)
- ・民間(機械)(3)
- ・不明(2)

②住所



A. 新潟市内	126
B. 新潟市を除く新潟県内	49
C. 富山県	13
D. 石川県	4
E. その他	6
未回答	11
	209

新潟市を除く新潟県内

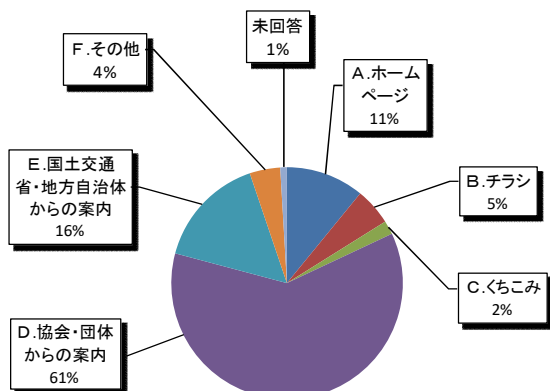
- ・阿賀野市(2)
- ・糸魚川市(2)
- ・魚沼市(2)
- ・柏崎市(1)
- ・佐渡市(1)
- ・三条市(1)
- ・新発田市(4)
- ・上越市(1)
- ・燕市(2)
- ・長岡市(7)
- ・南魚沼市(1)
- ・村上市(1)
- ・湯沢町(1)
- ・不明(23)

その他

- ・神奈川(2)
- ・東京(1)
- ・福島(3)

問2. 今回の建設技術報告会来場についてお尋ねします。

①本報告会の開催を何で知りましたか？



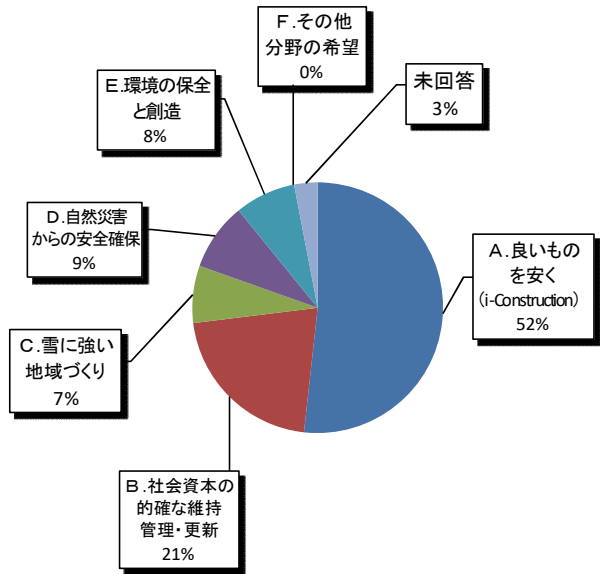
A. ホームページ	23
B. チラシ	11
C. くちこみ	4
D. 協会・団体からの案内	129
E. 国土交通省・地方自治体からの案内	33
F. その他	9
未回答	2
	211

その他

- ・職場(7)
- ・いつも参加しているので(1)
- ・不明(1)

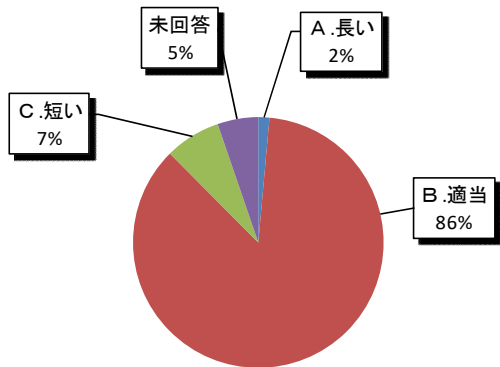
問3. 今回の報告会の開催についてお尋ねします。

①建設技術報告会は、次の5分野を核に報文を募集しています。最も関心のある分野はなんですか？



A. 良いものを安く (i-Construction)	119
B. 社会資本の的確な維持管理・更新	49
C. 雪に強い地域づくり	17
D. 自然災害からの安全確保	20
E. 環境の保全と創造	18
F. その他分野の希望	0
未回答	7
	230

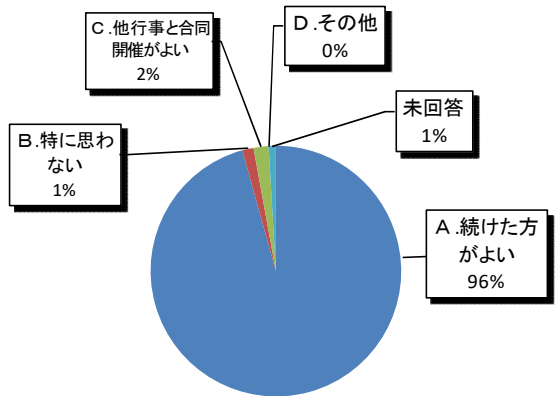
②報告技術の1題当たりの報告時間は？



A. 長い	3
B. 適当	180
C. 短い	15
未回答	11
	209

問4. 今後の報告会の開催についてお尋ねします。

①報告会を今後も開催した方がよいですか？

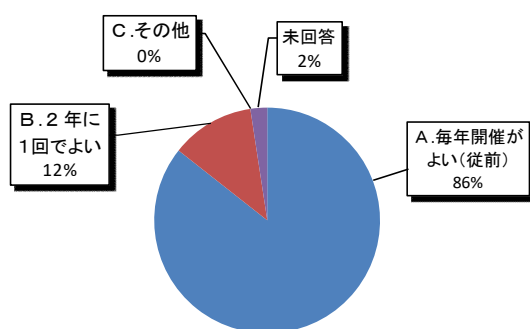


A. 続けた方がよい	200
B. 特に思わない	3
C. 他行事と合同開催がよい	4
D. その他	0
未回答	2
	209

Cの行事

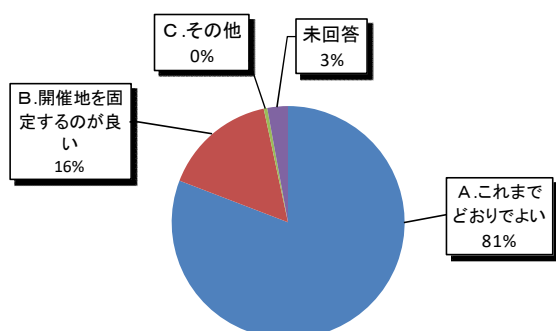
- ・けんせつフェア (3)
- ・不明 (1)

②開催年について



A. 毎年開催がよい(従前)	179
B. 2年に1回でよい	25
C. その他	0
未回答	5
	209

③これまで新潟→富山→新潟→石川の順で開催していますが、開催地についてご意見ありますか？



A. これまでどおりでよい	169
B. 開催地を固定するのが良い	33
C. その他	1
未回答	6
	209

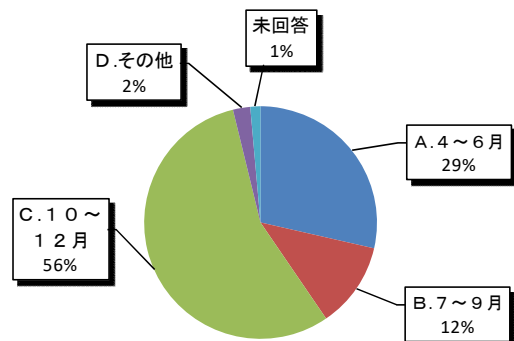
Bの開催地

・新潟(33) ・石川(1) ・不明(3)

その他

・不明(1)

④開催時期について

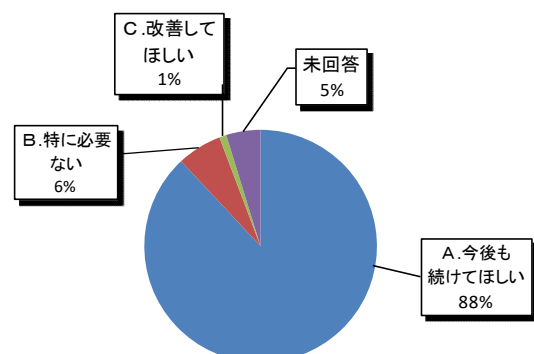


A. 4～6月	60
B. 7～9月	25
C. 10～12月	117
D. その他	5
未回答	3
	210

その他

・1～3月(積雪時)(4)
・特になし(1)

⑤基調講演について



A. 今後も続けてほしい	184
B. 特に必要ない	13
C. 改善してほしい	2
未回答	10
	209

改善案

・報告と並行して行ってもよいのでは(1)
・あまり好きな講演ではなかった
(内容ではなく、パワポのまとめ方、話し方等)(1)

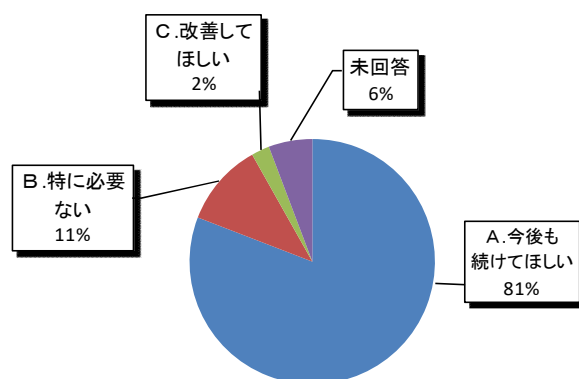
その他意見

・配布資料は可能であれば、カラーにしていきたい(1)

⑥基調講演で希望する内容はありますか？

- ・最新の話題(技術や工法)
- ・i-con関連(計画例や実施工例、現在国が取り組んでいる事など)
- ・IoT、ICT、UAV、AI関連(建設への可能性)
- ・未来の人間にしかできない仕事と自動化
- ・建築系の内容
- ・防災関連
- ・安全に関する事
- ・インフラメンテナンス技術について
- ・社会資本整備と地域の活性化
- ・環境保全
- ・グリーンツーリズム
- ・維持管理の予算と実態の現状と対策
- ・建設業のあり方、今後の役割、これからの公共事業について
- ・各発注機関における生産性向上の取組み
- ・労働生産性に関する内容(特に建設現場における完全週休2日制へのアプローチと現状)
- ・人材育成や担い手の確保
- ・特殊施工の事例

⑦技術パネル等展示コーナーについて

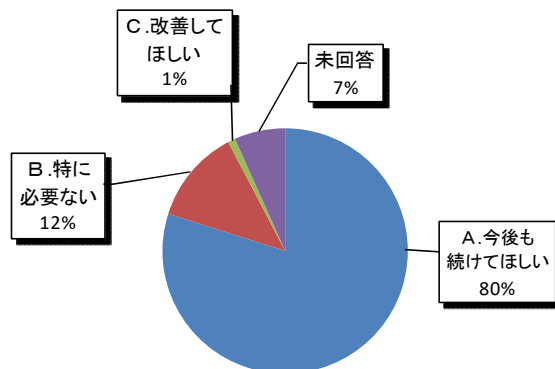


A. 今後も続けてほしい	169
B. 特に必要ない	23
C. 改善してほしい	5
未回答	12
	209

改善案

- ・スペースを広くして、各ブースに説明者をつけてほしい(1)
- ・資材等は現物展示をお願いしたい(1)
- ・パンフが少ないので増やして欲しい(1)

⑧NETIS等パンフレット配布コーナーについて



A. 今後も続けてほしい	167
B. 特に必要ない	26
C. 改善してほしい	2
未回答	14
	209

改善案

- ・技術パネル展示とNETIS/パンフレット配布は同じブースにして欲しい。(NETIS以外のパネル展示は不要)
- ・もう少し細やかな内容を望む(従来工法との施工比較など)
- ・NETISの申請や、NETIS登録技術をしようした際、技術提案評価のインセンティブについても案内があるといい。

問5. その他ご意見・要望がありましたらご記入ください。

<基調講演関係>

- ・基調講演は、非常に参考になり刺激になった。

<技術報告関係>

- ・第1会場は司会者、発表者の声が小さく聞き取りづらかった。司会から言ってもらうか音量の調節をした方がよい。会場2は明瞭で良かった。
- ・技術報告の発表時間をしっかり守るようにするべき。2回目のベルが鳴ってから長々と喋っているなどありえない。
「自分の組織は工期を守りません。」とアピールしているようなもの。司会者も主催者もこの点をしっかり注意すべきと考えます。
- ・発表において、教科書、他人の作った文章をただ読み上げているような発表はやめるべきだと思う。何が重要で、何を伝えたいのかが伝わってこない。
- ・報告会、発表後の質問ができる雰囲気ではない。会場をよりコンパクトにする、予備の質問者をある程度決めておく等の対策が必要ではないでしょうか。
- ・質問者を3名程度(1質問当たり)割り当ててはどうか。発表力の良い発表者を表彰してはどうか。(内容は別として)
- ・発表時間が短くて、理解しづらいことがあった。
- ・基調が長く、講演が短いような気がする。また発表賞を設けるとモチベーションの向上になると思う。
- ・各社の独自の取組があって面白かった。もう少し2会場を行き来し易くしてほしい。
- ・発表ごとに会場を移動することがあるので、発表の間に2～3分時間があるとよい。しかしながら、様々な視点からの効率化や安全性向上に向けた発表を聴くことができて大変有意義だった。
- ・第三と第四の間に休憩を入れた方がいい。IVが終わった後は、すぐ閉会式で良いと思う。
- ・第2会場が混んでいて聴講できなかった。(テーマにもよるが)
- ・各会場・グループの報告内容について、項目・分野ごとにグループ化してほしい。例えば、道路・河川・港湾・製品・計装・トンネル・シールド系など。
- ・業種に絞った建設技術報告を希望します。
- ・説明資料が配付されたものは概要だけだが、詳しい資料があると後日復習ができる。最後の技術報告を聞く頃には最初の技術を忘れてしまった。
- ・サイトで配布するPDFは、文ではなくパワポのスライドの方がわかりやすいと思うので、パワポにしてほしい。

<その他>

- ・CPDの受講証明書が発行されますが、土木学会のCPDでは自己学習で認定されています。これだけの内容ですので、土木学会のCPD単位(講習会の受講)に認定していただくと有用と思います。
- ・CPD認定プログラムでもあり、建築系の内容も増やしてほしい。
- ・新潟開催の時に参加しています。CPDの活用もあり、参考になります。また参加したいと思います。9月22日までの申込みは遅れてしまいましたが、受付けてもらって助かりました。ありがとうございました。
- ・開始時間をもう一時間遅くしてほしい。
- ・無料駐車スペースを作って欲しい。(11/24に開催されたMade in 新潟の展示会では無料駐車場(D駐車場)が用意されていた。)
- ・新潟駅からの無料シャトルバス
- ・会場が寒すぎる
- ・ランチガイドは役に立って良いと思う。
- ・事務局方、お疲れ様です。今後とも宜しくお願い致します。
- ・とても素晴らしい運営であったと思います。スタッフの皆様、大変ありがとうございました。
- ・大変有意義でありました。今後も続けて欲しいと思います。
- ・いい刺激になりました。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。